

令和4年度 世界史Aシラバス

令和4年5月24日提出

科目名	世界史A	単位数	2単位
学年 学科	3年 海洋技術科	教科書	明解世界史A (帝国書院)

月	単元名	時	学習の目標及び内容	評価の観点				評価規準
				関 心 意 欲 態 度	思 考 判 断 表 現	技 能	知 識 理 解	
4 月	序章 人類の はじまり	1	自然環境と歴史、日本の歴史と世界の歴史のつながりに関わる適切な主題を設定し、考察することで地理と歴史への関心を高め、世界史学習の意義に気づかせる。	◎	△	○	○	【関】歴史の舞台としての自然環境や日本列島の中にみられる世界との関係・交流について関心を高め、意欲的に追究している。 【思】自然環境と歴史、日本史と世界史のつながりについて考察し、判断した過程や結果を適切に表現している。 【技】地図や写真を読み取る活動、年表や地図に表現するなど、世界史学習の基本的技能を身につけている。 【知】自然環境と人間の活動、日本史と世界史が関連していることに気づいている。
			人類の登場と、農耕・牧畜による食料生産を基礎にして、人類が文明を築き、歴史時代へはいつていくありさまを地域ごとに概観し、各地域世界が形づくられていく過程を理解する。	○	○	△	◎	【関】人類の発生・進化の過程や農耕・牧畜による食料生産革命、文明の成立などについて関心を高め、意欲的に追究するとともに、人類史について考えようとしている。 【思】人類の登場、食料生産革命、文明の成立などについて考察し、判断した過程や結果を適切に表現している。 【技】人類の登場、食料生産革命、文明の成立などに関する資料を収集し、適切に活用する技能を身につけている。 【知】先史時代について概観し、人間の進化を把握するとともに、基本的知識を身につけている。
	1節 1章 東ア ジア世界	4	東アジアの風土と諸民族、封建制度、漢字文化圏、儒教思想、律令体制、文治主義、冊封体制などを通して、日本を含む東アジアの文明の特質を理解する。	○	△	△	◎	【関】東アジアの風土・生活・言語・思想などについて関心を高め、意欲的に追究するとともに、東アジアの特質について考えようとしている。 【思】東アジアの風土・生活・言語・思想などについて考察し、判断した過程や結果を適切に表現している。 【技】東アジアの風土・生活・言語・思想などに関する資料を収集し、適切に活用する技能を身につけている。 【知】日本を含む東アジアの文明の特質(封建制度、漢字文化圏、儒教思想、律令体制、文治主義、冊封体制など)を構造的視野から把握し、基本的知識を身につけている。
	2章 南ア ジア世界	1	南アジアの風土と諸民族、カースト制、仏教、ヒンドゥー教、イスラームの影響などを通して、南アジアの文明の特質を理解する	○	○	△	◎	【関】南アジアが、宗教と社会制度を共通の基盤として一つの社会が形づくられたことについて関心を高め、意欲的に追究するとともに、南アジアの特質について考えようとしている。 【思】南アジアが宗教と社会制度を共通の基盤として一つの社会が形づくられたことについて考察し、判断した過程や結果を適切に表現している。 【技】南アジアが、宗教と社会制度を共通の基盤として一つの文明を形成したことに関する

							資料を収集し、適切に活用する技能を身につけている。 【知】南アジアの文明の特質(カースト制, 仏教, ヒンドゥー教, イスラームの影響など)を構造的視野から把握し, 基本的知識を身につけている。
	3章 東南アジア世界	1	自然環境や地理的位置に着目し, インドと中国のはざまにあるため, 両文明の影響を受けながら, それぞれの地域で多様な社会・文化を築いていった東南アジアの特質を理解する。	○	○	△	◎ 【関】東南アジアの風土・生活・文化などについて関心を高め, 意欲的に追究するとともに, 東南アジア世界の特質について考えようとしている。 【思】東南アジアが独自の文化を生み出したことについて考察し, 判断した過程や結果を適切に表現している。 【技】東南アジアに関する資料を収集し, 適切に活用する技能を身につけている。 【知】東南アジアの特質(都市や港市のネットワークなど)を構造的視野から把握し, 基本的知識を身につけている。
5月	4章 イスラーム世界	3	西アジア・北アフリカの風土と諸民族, オリент文明・イラン文明の伝統にふれ, 基層となる西アジアの特徴を把握し, イスラームの成立と拡大・分裂などを通して, 西アジア・北アフリカの文明の特質を理解する。	○	○	△	◎ 【関】西アジア・北アフリカが, さまざまな遊牧民, 農耕民, 交易民により形成され, 拡大したことについて関心を高め, 意欲的に追究するとともに, 西アジア・北アフリカの特質について考えようとしている。 【思】西アジア・北アフリカが, さまざまな遊牧民, 農耕民, 交易民により形成され, 拡大したことについて考察し, 判断した過程や結果を適切に表現している。 【技】西アジア・北アフリカが, さまざまな遊牧民, 農耕民, 交易民により形成され, 拡大したことに関する資料を収集し, 適切に活用する技能を身につけている。 【知】西アジア・北アフリカがの成立とその特色, 地域的な拡大と独自の世界の形成について, イスラーム国家の柔軟性やムスリム商人の役割などを把握し, 基本的知識を身につけている。
	5章 ヨーロッパ世界	3	ヨーロッパの風土と諸民族, ギリシア・ローマ文明の伝統, キリスト教の発展, 封建社会などを通して, ヨーロッパの文明の特質を理解する。	○	△	△	◎ 【関】ヨーロッパの風土・生活・文化などについて関心を高め, 意欲的に追究するとともに, ギリシア・ローマ文明の伝統とキリスト教によって一つの文明を形成したヨーロッパの特質について考えようとしている。 【思】ギリシア・ローマ文明の伝統とキリスト教によって一つの文明を形成したヨーロッパについて考察し, 判断した過程や結果を適切に表現している。 【技】ギリシア・ローマ文明の伝統とキリスト教によって一つの文明を形成したヨーロッパに関する資料を収集し, 適切に活用する技能を身につけている。 【知】ヨーロッパの文明の特質(ギリシア・ローマ文明の伝統, キリスト教の発展, 封建社会など)を構造的視野から把握し, 基本的知識を身につけている。
	6章 南北アメリカ	1	南北アメリカ大陸の風土と先住民にふれ, ヨーロッパが進出する以前の南北アメリカ大陸において独自の文化が築かれていたことを理解する。	○	△	△	◎ 【関】南北アメリカの大陸の風土と先住民, 独自の文明に対する関心を高め, 意欲的に追究するとともに, 南北アメリカの文明の特質について考えようとしている。 【思】南北アメリカの文明の特質を考察し, 判断した過程や結果を適切に表現している。 【技】南北アメリカの文明の特質に関する資料を収集し, 適切に活用する技能を身につけている。

								【知】南北アメリカの文明の特質を構造的視野から把握し、基本的知識を身につけている。
	7章 ユーラシアの交流圏	1	ユーラシアの内陸及び海域のネットワークを背景に、諸地域間の交流が進み、ユーラシア規模の交流圏が成立していくようすを交易品などの事例を通して巨視的かつ視覚的に把握し、相互の文化受容の進展について理解する。	○	△	△	◎	【関】ユーラシア規模の交流圏の成立とそれを支えた内陸および海域(都市や港市)のネットワークに対する関心を高め、意欲的に追究し、考えようとしている。 【思】ユーラシア規模の交流圏の成立とそれを支えた内陸および海域(都市や港市)のネットワークについて考察し、判断した過程や結果を適切に表現している。 【技】ユーラシア規模の交流圏の成立とそれを支えた内陸および海域(都市や港市)のネットワークに関する資料を収集し、適切に活用する技能を身につけている。 【知】ユーラシア規模の交流圏の成立とそれを支えた内陸および海域(都市や港市)のネットワークを把握し、基本的知識を身につけている。
6月	2節 1章 繁栄するアジア	2	アジアのティムール・オスマン・ムガル・明・清などの諸帝国の政治と社会にふれ、この時期に安定した支配と経済の繁栄を背景に、文化も黄金時代を迎えたことを理解する。	○	△	△	◎	【関】成熟期を迎えたアジアの諸帝国に対する関心を高め、意欲的に追究し、その特色について考えようとしている。 【思】成熟期を迎えたアジアの諸帝国の特色について考察し、判断した過程や結果を適切に表現している。 【技】成熟期を迎えたアジアの諸帝国の特色に関する資料を収集し、適切に活用する技能を身につけている。 【知】成熟期を迎えたアジアの諸帝国の特色を理解し、その知識を身につけている。
	2章 大航海時代を迎えるヨーロッパ	3	ルネサンスと宗教改革、新航路の開拓などにふれ、16世紀頃から始まった世界の一体化への動きと新たなヨーロッパのわく組みとなった主権国家体制の形成について理解する。	○	◎	△	◎	【関】16～18世紀にかけてのヨーロッパ世界の動向、社会・文化の特質、アメリカ・アフリカに対する関心を高め、意欲的に追究し、考察しようとしている。 【思】16～18世紀にかけてのヨーロッパ世界の動向、社会・文化の特質、アメリカ・アフリカとの関係について考察し、判断した過程や結果を適切に表現している。 【技】16～18世紀にかけてのヨーロッパ世界の動向、社会・文化の特質、アメリカ・アフリカとの関係に関する資料を収集し、適切に活用する技能を身につけている。 【知】ヨーロッパではルネサンスと宗教改革、新航路の開拓を経て主権国家体制が形成され、アメリカではヨーロッパ人による征服と入植・開発が先住民社会の変質を余儀なくしたこと、またアジア貿易への参入やメキシコ銀の流入がヨーロッパ経済の成長と転換をもたらしたことを把握し、その知識を身につけている。
7月	3章 ヨーロッパとアメリカの諸革命	7	アメリカ諸国の独立、フランス革命、産業革命、拡大する貿易活動などを通して、西ヨーロッパとアメリカに産業社会が成立し、市民社会および国民国家の形成が進行したことを理解する。	○	○	△	◎	【関】18世紀後半から19世紀にかけてのヨーロッパとアメリカの諸革命に対する関心を高め、意欲的に追究し、社会の産業化と国民国家の形成により近代世界が確立したことについて考えようとしている。 【思】18世紀後半から19世紀にかけてのヨーロッパとアメリカの諸革命を考察し、社会の産業化と国民国家の形成により近代世界が確立したことを判断して、一連の思考の過程を適切に表現している。 【技】18世紀後半から19世紀にかけてのヨーロッパとアメリカの諸革命に関する資料を収集し、適切に活用して、社会の産業化と国民国家の形成により近代世界が確立したことを考

							察する技能を身につけている。 【知】18世紀後半から19世紀にかけてのヨーロッパとアメリカの諸革命について理解し、その知識を身につけている。
	4章 自由主義・ナショナリズムの進展	3	19世紀後半のヨーロッパ、アメリカ社会を通して、自由主義とナショナリズムが進展していくようすとアメリカの発展について理解する。	○	○	△	◎ 【関】1848年を転換点として、自由主義とナショナリズムが進展したことに対する関心を高め、意欲的に追究し、考えようとしている。 【思】1848年を転換点として、自由主義とナショナリズムが進展したことについて考察し、判断した過程や結果を適切に表現している。 【技】1848年を転換点として、自由主義とナショナリズムが進展したことに関する資料を収集し、適切に活用する技能を身につけている。 【知】1848年を転換点として、自由主義とナショナリズムが進展したことを理解し、その知識を身につけている。
9月	5章 アジア諸国の動揺	4	オスマン帝国の弱体化やムガル帝国の崩壊などを通して、世界市場の形成を背景にしたヨーロッパ諸国のアジア進出とアジア諸国の状況、植民地化や従属化の過程での抵抗と挫折、伝統文化の変容など、アジア諸国の動揺のようすを理解する。	○	○	△	◎ 【関】アジア諸国の内部で進行していた変化と、ヨーロッパの進出によって引き起こされた変貌に対する関心を高め、意欲的に追究するとともに、その特質について考えようとしている。 【思】アジア諸国の内部で進行していた変化と、ヨーロッパの進出によって引き起こされた変貌について考察し、判断した過程や結果を適切に表現している。 【技】アジア諸国の内部で進行していた変化と、ヨーロッパの進出によって引き起こされた変貌に関する資料を収集し、適切に活用する技能を身につけている。 【知】世界市場の形成を背景にしたヨーロッパ諸国のアジア進出とアジア諸国の状況、植民地化や従属化の過程での抵抗と挫折、伝統文化の変容など、アジア諸国の動揺を理解し、その知識を身につけている。
	6章 東アジアの大変動	4	アヘン戦争やアロー戦争などの西洋の衝撃により、冊封=朝貢体制に基づく東アジアの伝統的な国際秩序が崩壊していく過程を通して、ヨーロッパ諸国の東アジア進出と東アジア諸国の状況、半植民地化や従属化の過程での抵抗と挫折、その中での日本の対応など、東アジアの大変動を理解する。	○	△	△	◎ 【関】東アジア諸国の内部で進行していた変化と、ヨーロッパの進出によって引き起こされた変貌に対する関心を高め、意欲的に追究するとともに、その特質について考えようとしている。 【思】東アジア諸国の内部で進行していた変化と、ヨーロッパの進出によって引き起こされた変貌を考察し、判断した過程や結果を適切に表現している。 【技】東アジア諸国の内部で進行していた変化と、ヨーロッパの進出によって引き起こされた変貌に関する資料を収集し、適切に活用する技能を身につけている。 【知】ヨーロッパ諸国の東アジア進出と東アジア諸国の状況、半植民地化や従属化の過程での抵抗と挫折、その中での日本の対応など、東アジアのようすを理解し、その知識を身につけている。
	3節 1章 現代世界の芽生え	4	交通革命、マス=メディアの発達、企業や国家の巨大化、社会の大衆化と政治や文化の変容、公教育の普及と国民統合などを通して、20世紀という時代の特質を把握するとともに、欧米諸国によるアジア・アフリカの植民地化をめぐる競合と人口移動から、世界の支配・従属関係を伴う一体化と社会の変容を理解する。	○	○	△	◎ 【関】19世紀末から20世紀初頭にかけて、欧米諸国や日本などにみられた社会の急激な変化と19世紀の世界の一体化に対する関心を高め、意欲的に追究するとともに、その特質を人類史的視野から考えようとしている。 【思】19世紀末から20世紀初頭にかけて、欧米諸国や日本などにみられた社会の急激な変化と19世紀の世界の一体化について考察し、判断した過程や結果を適切に表現している。

							<p>【技】19世紀末から20世紀初頭にかけて、欧米諸国や日本などにみられた社会の急激な変化と19世紀の世界の一体化に関する資料を収集し、適切に活用する技能を身につけている。</p> <p>【知】産業構造の変化や大量消費社会・大衆社会の始まりなど、20世紀という時代の特徴を人類史的視野から把握するとともに、欧米諸国によるアジア・アフリカの植民地化をめぐる競合と人口移動から世界の支配・従属関係を伴う一体化と社会の変容を理解し、その知識を身につけている。</p>
2章 第一次世界大戦がもたらしたもの	5	第一次世界大戦と総力戦としての様相、ロシア革命、ソヴィエト連邦の成立、戦争と革命による国際秩序の変化、アメリカの大衆生活とその波及を通して、20世紀初頭の変化の様相を理解する。	◎	△	△	◎	<p>【関】第一次世界大戦の原因と性格、平和の意義などに対する関心を高め、意欲的に追究するとともに、20世紀初頭の変化の様相について考えようとしている。</p> <p>【思】第一次世界大戦の原因と性格、平和の意義について考察し、20世紀初頭の変化の様相について考察し、一連の思考の過程を適切に表現している。</p> <p>【技】第一次世界大戦の原因と性格、平和の意義と20世紀初頭の変化の様相に関する資料を収集し、適切に活用する技能を身につけている。</p> <p>【知】第一次世界大戦の原因と性格、ロシア革命の展開とそれが世界に与えた影響、戦争と革命による国際秩序の変化、国際協調とヴェルサイユ体制、アメリカ的生活様式の資本主義社会への普及について理解し、その知識を身につけている。</p>
3章 民族自決を求めて	3	インド・中東および東アジアの民族運動を通して、「民族自決」を求めたアジアのナショナリズムの動きを理解する。	○	○	△	◎	<p>【関】インド・中東および東アジアの民族運動に対する関心を高め、意欲的に追究するとともに、「民族自決」を求めたアジアのナショナリズムの動きについて考えようとしている。</p> <p>【思】インド・中東および東アジアの民族運動について考察し、「民族自決」を求めたアジアのナショナリズムの動きについて考察し、一連の思考の過程を適切に表現している。</p> <p>【技】インド・中東および東アジアの民族運動と「民族自決」を求めたアジアのナショナリズムの動きに関する資料を収集し、適切に活用する技能を身につけている。</p> <p>【知】第一次世界大戦後、インド・トルコ・中国などの民族運動が大衆的基盤をもち、アジア諸民族の動向が世界史の新しい潮流をつくり出したことを理解し、その知識を身につけている。</p>
4章 経済危機から第二次世界大戦へ	6	第二次世界大戦の原因や総力戦としての性格、それらが及ぼした影響を理解し、平和の意義などについて考察する。2部1章2節とあわせて20世紀前半の国際政治の流れを概観し、国際関係の変遷と社会の特徴を理解する。	○	△	△	◎	<p>【関】世界恐慌と資本主義の変容、20世紀前半の国際政治の流れ、第二次世界大戦の原因や性格などに対する関心を高め、意欲的に追究するとともに、現代の戦争の特徴と平和の意義について考え、国際社会に生きる日本人としての自覚をもとうとしている。</p> <p>【思】世界恐慌と資本主義の変容、20世紀前半の国際政治の流れ、第二次世界大戦の原因や性格、現代の戦争の特徴と平和の意義などについて考察し、判断した過程や結果を適切に表現している。</p> <p>【技】世界恐慌と資本主義の変容、20世紀前半の国際政治の流れ、第二次世界大戦の原因や性格、現代の戦争の特徴と平和の意義などに関する資料を収集し、適切に活用する技能を身につけている。</p>

							【知】世界恐慌と資本主義の変容，20世紀前半の国際政治の流れ，第二次世界大戦の原因や性格，現代の戦争の特質と平和の意義について理解し，その知識を身につけている。
5章 冷たい戦争の時代	8	第二次世界大戦後の米ソ両陣営の対立，アジア・アフリカの民族運動と植民地支配からの独立を理解し，核兵器問題やアジア・アフリカ諸国が抱える問題などについて考察する。	○	△	△	◎	<p>【関】第二次世界大戦後の米ソを中心とする両陣営間の対立や，アジア・アフリカ諸地域でみられた民族独立運動の展開，平和共存と多極化の進展などを通して，1970年頃までの世界の大きな動向について関心を高め，意欲的に追究し，考え，国際社会に生きる日本人としての自覚をもとうとしている。</p> <p>【思】第二次世界大戦後の米ソを中心とする両陣営間の対立や，アジア・アフリカ諸地域でみられた民族独立運動の展開，平和共存と多極化の進展などを通して，1970年頃までの世界の大きな動向について考察し，判断した過程や結果について適切に表現している。</p> <p>【技】第二次世界大戦後の米ソを中心とする両陣営間の対立や，アジア・アフリカ諸地域でみられた民族独立運動の展開，平和共存と多極化の進展などを通して，1970年頃までの世界の大きな動向に関する資料を収集し，適切に活用する技能を身につけている。</p> <p>【知】第二次世界大戦後の米ソ両陣営の対立，アジア・アフリカの民族運動と植民地支配からの独立，平和共存と多極化の進展などを通して，1970年頃までの世界の大きな動向について理解し，その知識を身につけている。</p>
6章 現在に続く世界の動き	2	1970年代以降は市場経済の世界化をはじめ，米ソのゆらぎや冷戦の終結などから，世界が大きく変容し，今日に至っていることを理解する。	○	○	△	◎	<p>【関】市場経済の世界化，米ソのゆらぎや冷戦の終結などから，1970年代以降の世界の大きな変容に対する関心を高め，意欲的に追究し，考え，国際社会に生きる日本人としての自覚をもとうとしている。</p> <p>【思】市場経済の世界化，米ソのゆらぎや冷戦の終結などから，1970年代以降の世界の大きな変容について考察し，判断した過程や結果について適切に表現している。</p> <p>【技】市場経済の世界化，米ソのゆらぎや冷戦の終結などから，1970年代以降の世界の大きな変容に関する資料を収集し，適切に活用する技能を身につけている。</p> <p>【知】市場経済の世界化，米ソのゆらぎや冷戦の終結などから，1970年代以降の世界の大きな変容について理解し，その知識を身につけている。</p>
未来への第1章	2	冷戦終結後の世界の政治・経済の動向について理解するとともに，日本が世界の諸国・諸地域と多様性を認め合いながら共存する方向を模索し，これからの国際社会における日本の役割について考察する。	○	△	△	◎	<p>【関】冷戦終結後の世界の政治・経済の動向について関心を高め，意欲的に追究するとともに，これからの国際社会における日本の役割，日本が世界の諸国・諸地域と多様性を認め合いながら共存する方向について考え，国際社会に生きる日本人としての自覚をもとうとしている。</p> <p>【思】冷戦終結後の世界の政治・経済の動向，これからの国際社会における日本の役割，日本が世界の諸国・諸地域と多様性を認め合いながら共存する方向について考察し，判断した過程や結果について適切に表現している。</p> <p>【技】冷戦終結後の世界の政治・経済の動向，これからの国際社会における日本の役割，日本が世界の諸国・諸地域と多様性を認め合いながら共存する方向に関する資料を収集し，適切に活用する技能を身につけている。</p>

							【知】 冷戦終結後の世界の政治・経済の動向, これからの国際社会における日本の役割, 日本が世界の諸国・諸地域と多様性を認め合いながら共存する方向について理解し, その知識を身につけている。
	21世紀の課題を考えよう	2	ここまで学習したことをふまえ, 現代世界の特徴や課題について, それぞれが興味のあるテーマを見つけて決定し, 自ら調べて, レポートにまとめ, 報告・発表する。意見交換の場を通して, 自分の意見をいっそう明確にしたり, 修正・再検討を加える。	○	○	△	◎
							【関】 主題を追究することで, 現代世界の特徴や課題への関心と世界史学習への意欲をもとめている。 【思】 適切な主題を設定して考察し, 判断した過程や結果を適切に表現している。 【技】 資料を用いて追究した過程や結果について, 報告書にまとめ, 発表や討論をする。 【知】 適切な主題に関連した現代世界の特徴や課題について理解し, その知識を身につけている。
総時間		70					